

フレパフォーマンス&トーク 6

テーマ：神聖→世俗→どこへでも ～トロンボーンのためのポータブルコンチェルト～

日本センチュリー交響楽団のコンサート「豊中名曲シリーズ」のプログラムに関連したパフォーマンスとトークをコンサート開演前の時間にお届けします。

様々な新しい試みが盛り込まれているベートーヴェンの「運命」。その革新の一つは史上初めてトロンボーンが交響曲に登場したことであります。そこでそのトロンボーンを取り上げ、トロンボーンと打楽器によるポータブルコンチェルトを演奏します。ポータブルコンツェルトとは作曲家、近藤浩平氏による「独奏楽器と小型の打楽器による持ち運びできる協奏曲」というコンセプトによる作品のこと。トロンボーンはベートーヴェンの「運命交響曲」によって教会という神聖な場から世俗の音楽へと活躍の場を広げた訳ですが、今回はそれどころか、どこへでも移動して演奏できるポータブルな世界へとさらに舞台を広げます。

2019年 9月21日(土) 開場 | 13:45
開演 | 14:00 開演 (14:40 終演予定)
※豊中名曲シリーズ Vol.11 当日の開催です。

豊中市立文化芸術センター 多目的室

入場無料 (当日先着 100名)

曲 目

近藤浩平：トロンボーンのためのポータブルコンチェルト『伸縮大魔王』（世界初演）
菱田麻耶：孤独なシロクマのお気楽な毎日（世界初演）

出 演

トロンボーン：三窪毅 バス・トロンボーン：笠野望
打楽器：廣川祐史、菅埜薫、横田悠哉

近藤浩平（作曲家）Kohei Kondo

2010年ベルリン・ドイツ・オペラ<Klang der Welt Ostasien>作曲コンクール第2位（室内楽）。左手のピアノ曲は智内威雄氏、館野泉氏による演奏機会が多く館野泉氏によりベルリン・フィルハーモニーでも演奏された。“持ち運びできる協奏曲”（ポータブル・コンチェルト）のコンセプトによる「ヴァイオリンと打楽器のための協奏曲」は、野村誠氏との企画で演奏され、ブダペスト祝祭管弦楽団でも取り上げられた。「海辺の祈り～震災と原子炉の犠牲者への追悼」は世界各地で再演100回を超える。<http://koheikondo.com>

菱田麻耶（作曲家）Maya Hishida

大阪音楽大学音楽学部作曲学科作曲専攻を首席で卒業、同大学院作曲研究室を修了。第84回日本音楽コンクール作曲部門入選。英国王立音楽院修士課程作曲専攻に同音楽院より給付奨学金を得て留学。同音楽院主催アラン・ブッシュ作曲賞にて2位。ロンドンで開催されたSpitalfields Festivalで委嘱作品が初演される他、ロンドンで活躍するプロのアンサンブルやコーラスにより作品が初演される。同音楽院修士課程作曲専攻修了。2018年、東京・渋谷、美竹清花さろん主催による作曲個展「菱田麻耶展」が開催される。これまでに作曲を高昌帥、エドモンド・フィニス、故オリヴァー・ナッセン、マイケル・フィニシーの各師に師事。ウィングエンターテインメントのミュージカルや、クラシック・アカペラ Aura（アウラ）、吹奏楽、アンサンブルなどの器楽曲の作編曲に携わり、ティータ出版社よりアンサンブル楽譜等が出版されている。